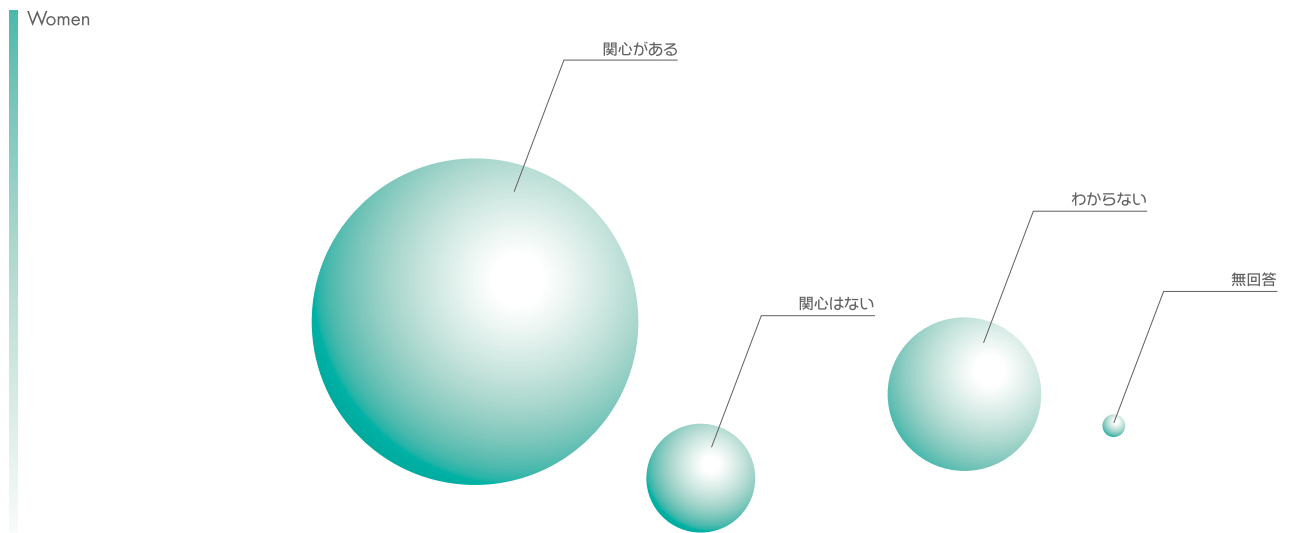
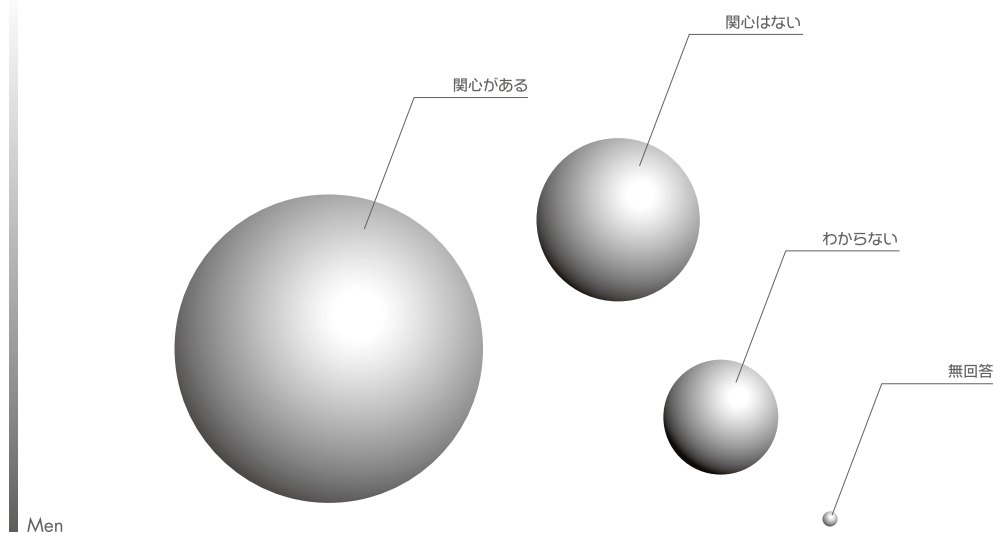


男女共同参画社会に関する調査 報告書

[ダイジェスト版]



[男女平等や男女共同参画への関心]について



はじめに

「男女共同参画社会」とは、女性及び男性が、社会の対等なパートナーとして、自分の意思で社会のあらゆる活動に参画することができ、喜びも責任も分かち合う社会です。千葉市では、平成 15 年 11 月に、千葉市民のみなさんの男女共同参画に関する意識を把握するためにアンケート調査を実施し、主な結果をこのパンフレットにとりまとめました。

市民のみなさんが男女共同参画について考える資料として活用していただければ幸いです。

目 次

回答者のプロフィール.....	p 1
男女平等と人権の尊重.....	p 2
政策・方針の決定過程における男女共同参画.....	p 8
教育の分野における男女共同参画.....	p 9
雇用の分野における男女共同参画.....	p10
家庭生活と職場や地域活動等を円滑に行えるような支援.....	p11
互いの性を理解し尊重しあえるような支援.....	p14
千葉市の男女共同参画への取組.....	p15

■調査の概要

調査対象：千葉市内在住の満 20 歳以上の男女 4,000 人（男女各 2,000 人）

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査期間：平成 15 年 11 月 7 日～平成 15 年 12 月 2 日

回収結果：回収数 1,620 件（回収率 40.5%）

有効回収数 1,596 件（回収率 39.9%）

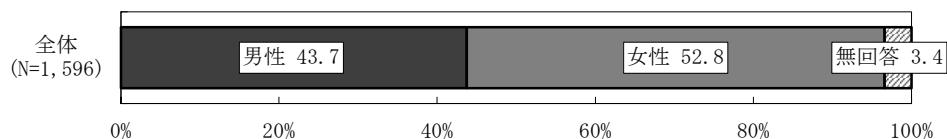
■パンフレットの見方

- ・ N は回答者の数を表します。
- ・ グラフの中の数値は、回答率（%）を表します。
- ・ 掲載したグラフには、質問によって全体結果を示したものと男女別、年代別、婚姻別結果を示したものがあります。

■回答者のプロフィール

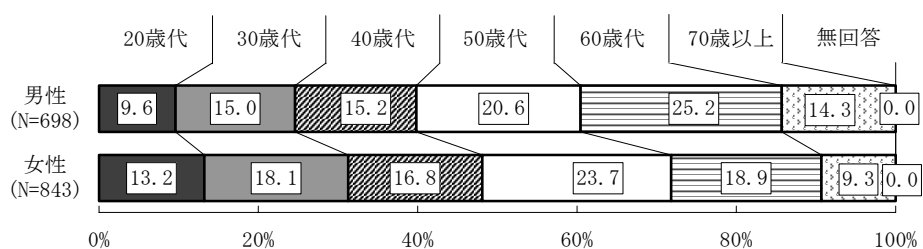
1. 男女比

回答者の性別は、男性が43.7%、女性が52.8%です。



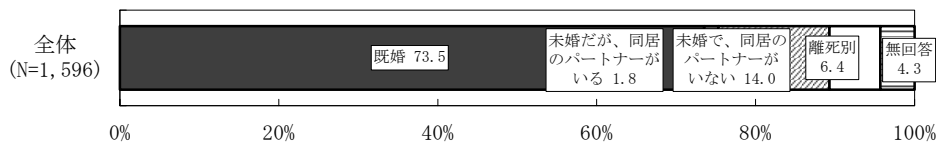
2. 年代

回答者の年代は、男女ともに50歳代・60歳代の割合が高くなっています。



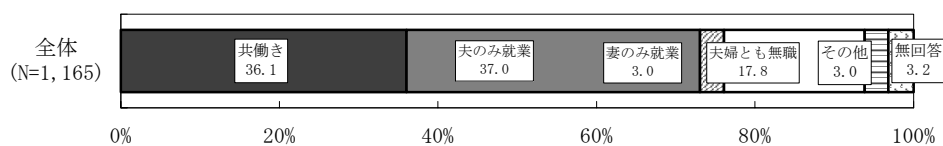
3. 婚姻関係

既婚者の割合は73.5%です。



4. 夫婦・パートナーの就業状況

夫婦・パートナーがいる人のうち、共働きが36.1%、夫のみ就業が37.0%です。

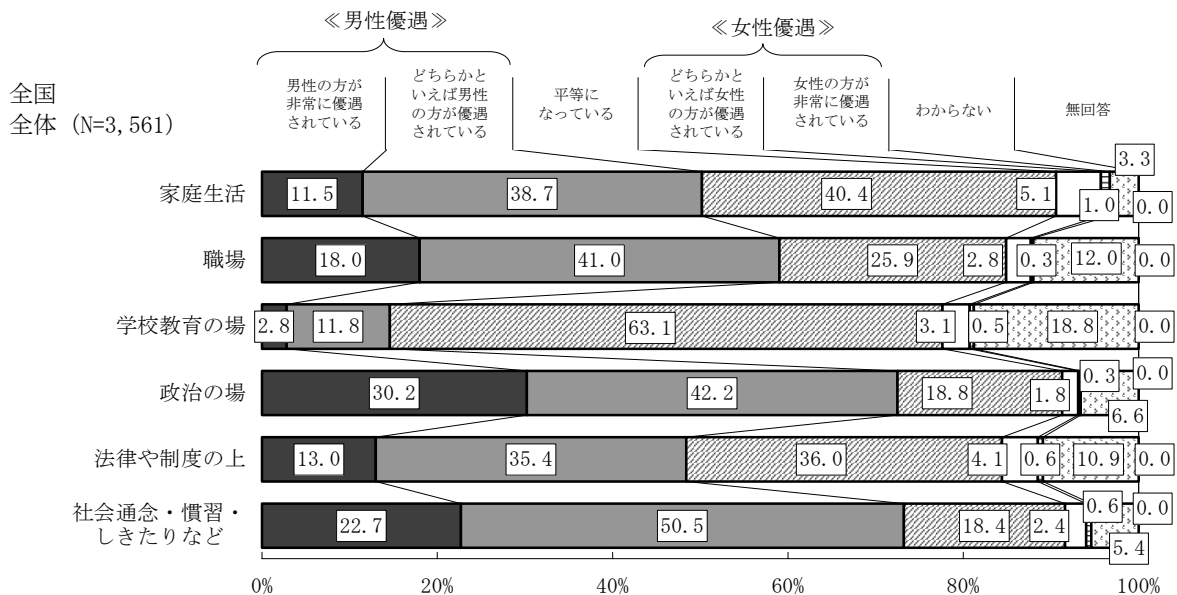
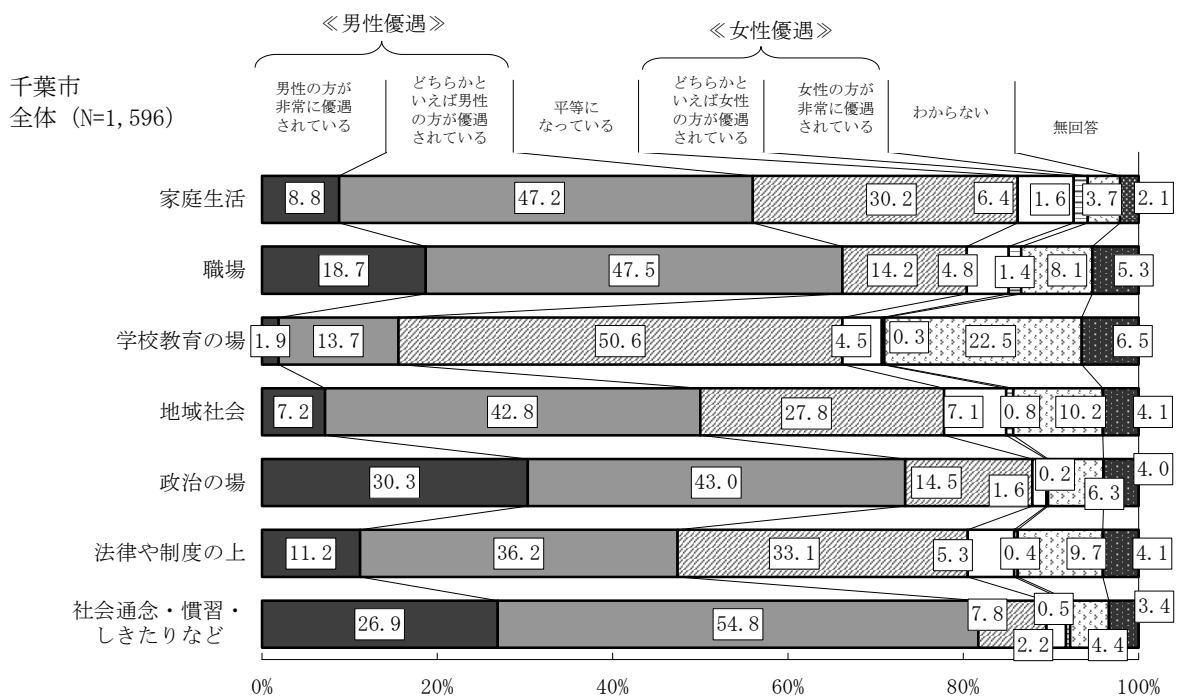


男女平等と人権の尊重

■男女の地位の平等感

家庭生活や職場など7つの分野における男女の地位の平等感をたずねました。

- ・“社会通念・慣習・しきたりなど”や“政治の場”で、男性が優遇されていると感じる人が多くなっています。また、平等になっていると感じている人が最も多いのは「学校教育の場」です。
- ・全国と比べると、“社会通念・慣習・しきたりなど”の分野で、男性が優遇されていると感じる人が多くなっていることがわかります。

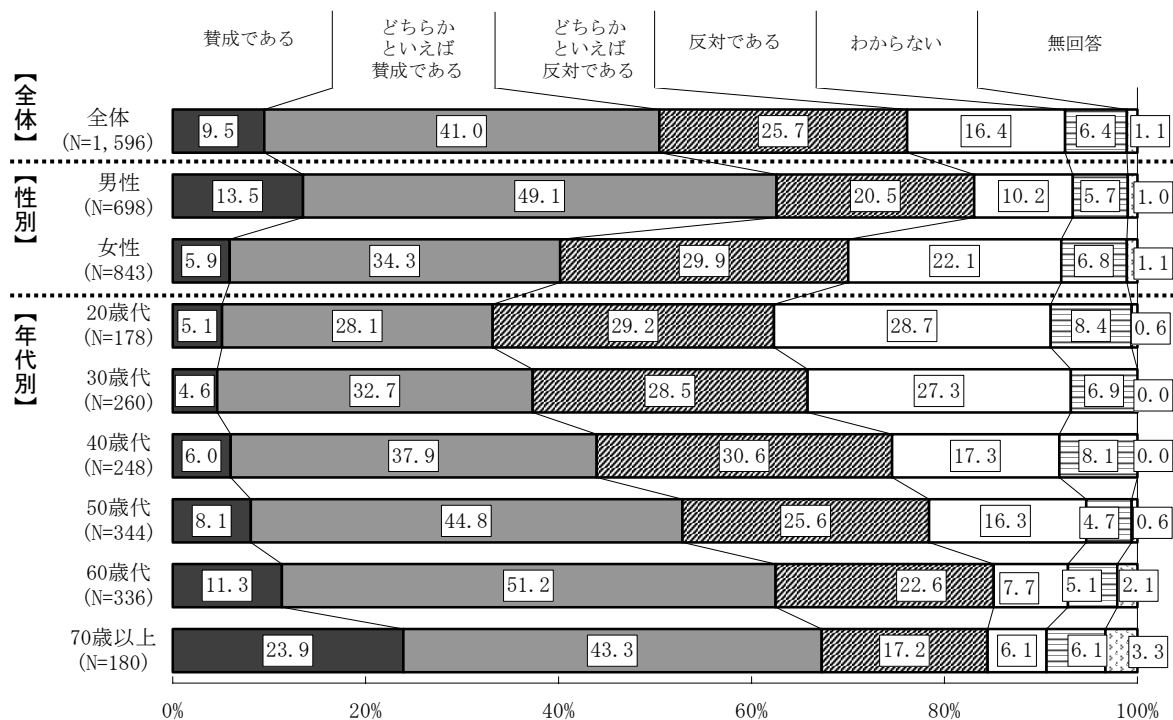


※内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成14年7月）

■男女の役割分担意識

「男性は仕事、女性は家事・育児」という男女の固定的な役割分担意識について、どのように考えるかたずねました。

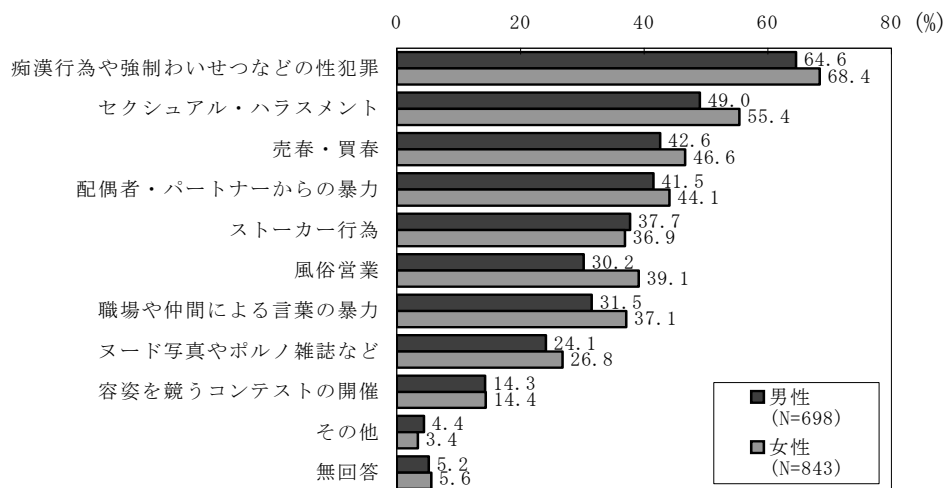
- ・男女の役割分担意識について、男性は女性より賛成する人が多くなっています。また、年代が上がるにつれて、賛成する人が多くなり、60歳以上では6割を超えています。



■男女の人権が尊重されていないと感じること

どのようなことを男女の人権侵害と感じているかたずねました。

- ・男女ともに「痴漢行為や強制わいせつなどの性犯罪」や「セクシュアル・ハラスメント」を人権侵害と感じる人が多くなっています。

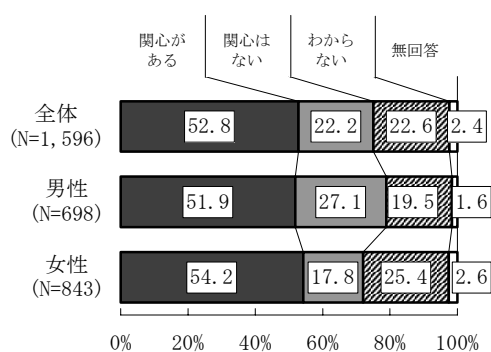


■男女平等や男女共同参画への関心度

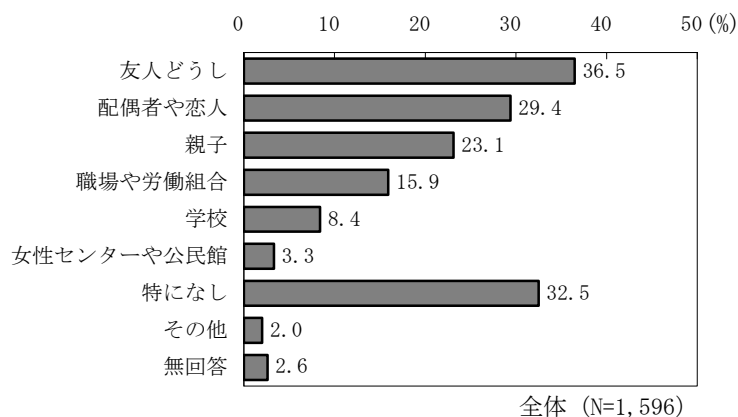
男女平等や男女共同参画について関心の有無と話し合いや学習の経験の有無をたずねました。

- 男女ともに約5割の人が男女平等や男女共同参画への関心を持っており、友人どうしあるいは配偶者や恋人、親子の間で話したことがあるという人が多いようです。

男女平等への関心度



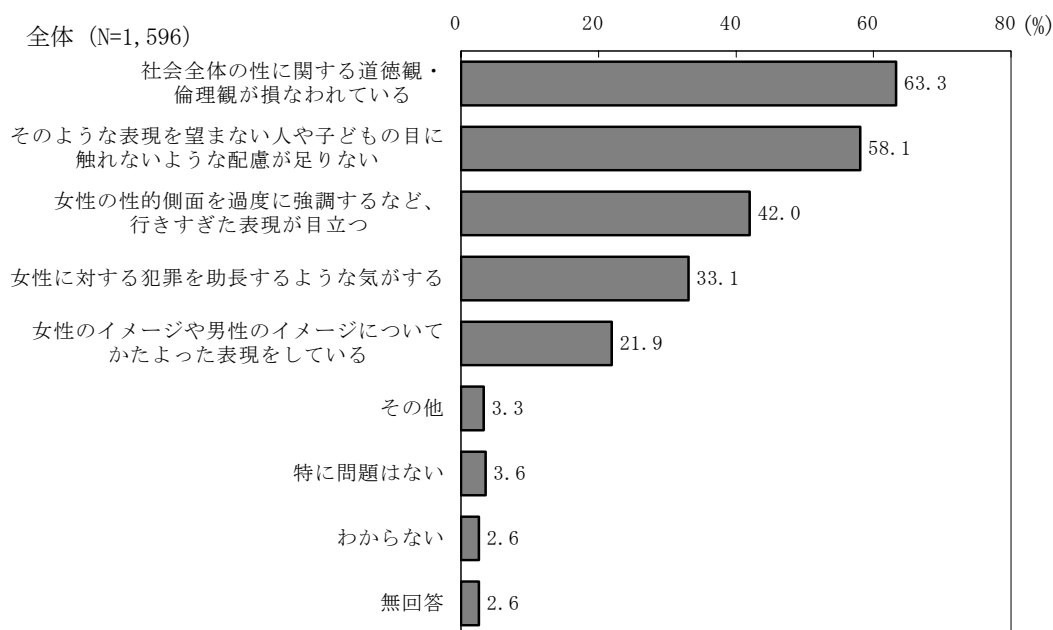
男女平等に関する話し合いや学習の経験



■メディアにおける性・暴力表現や社会的影響についての考え方

メディアにおいて性・暴力表現が氾濫する中で、これらの表現とその社会的影響について、どのように考えるかたずねました。

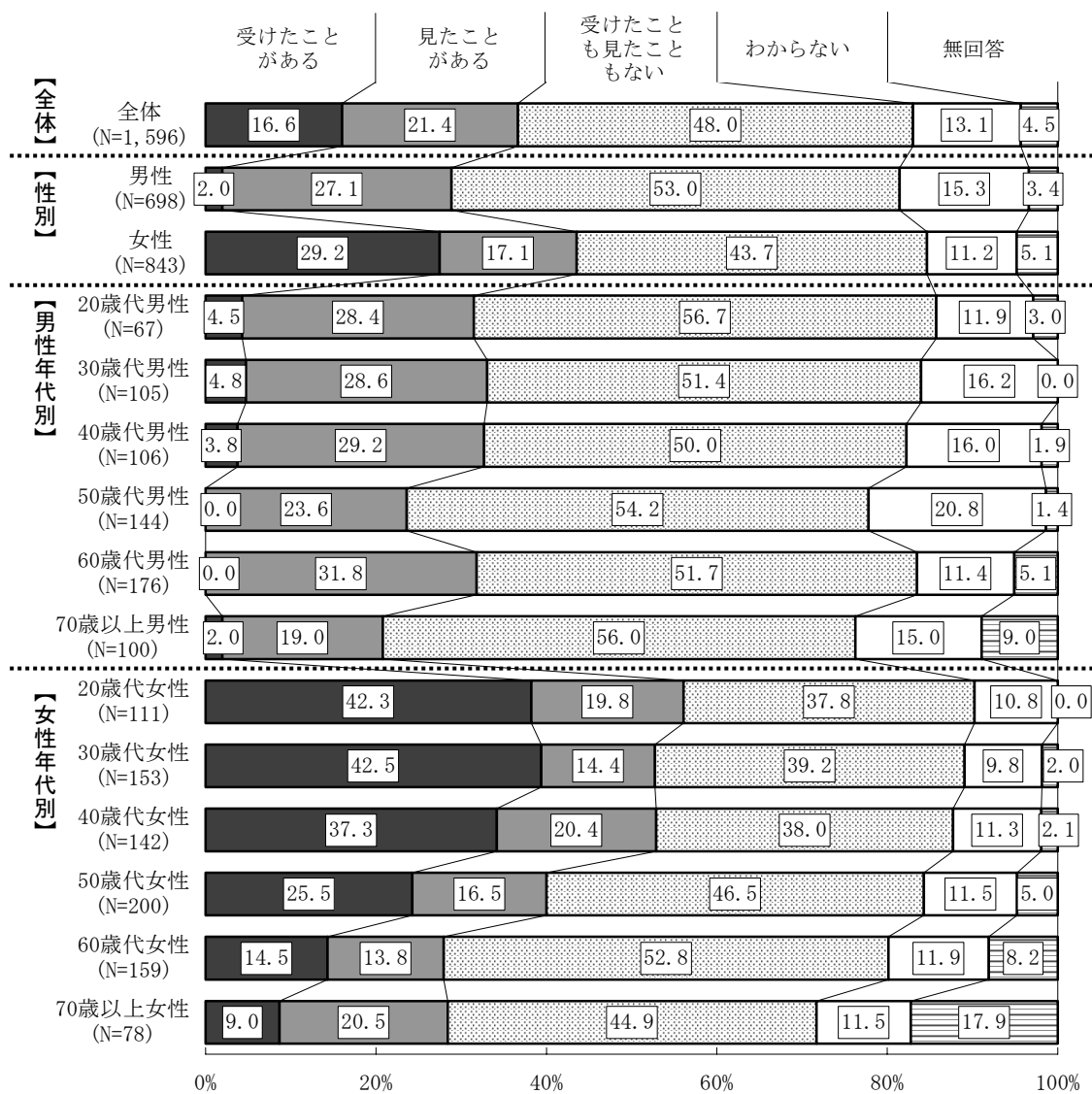
- メディアにおける性・暴力表現とその社会的影響によって、「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」と感じている人や「性・暴力表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」と感じている人が約6割います。



■セクシュアル・ハラスメント

「セクシュアル・ハラスメント」とは、相手を不快にさせる性的嫌がらせのことで、立場を利用した性的関係の強要やヌードポスターの掲示など職場環境を損なうものなどが含まれています。そこで、セクシュアル・ハラスメントの経験の有無をたずねました。

- ・セクシュアル・ハラスメントを受けたことのある人は、男性が2.0%、女性が29.2%となっており、特に20・30歳代の女性で「受けたことがある」人の割合は4割を超えています。

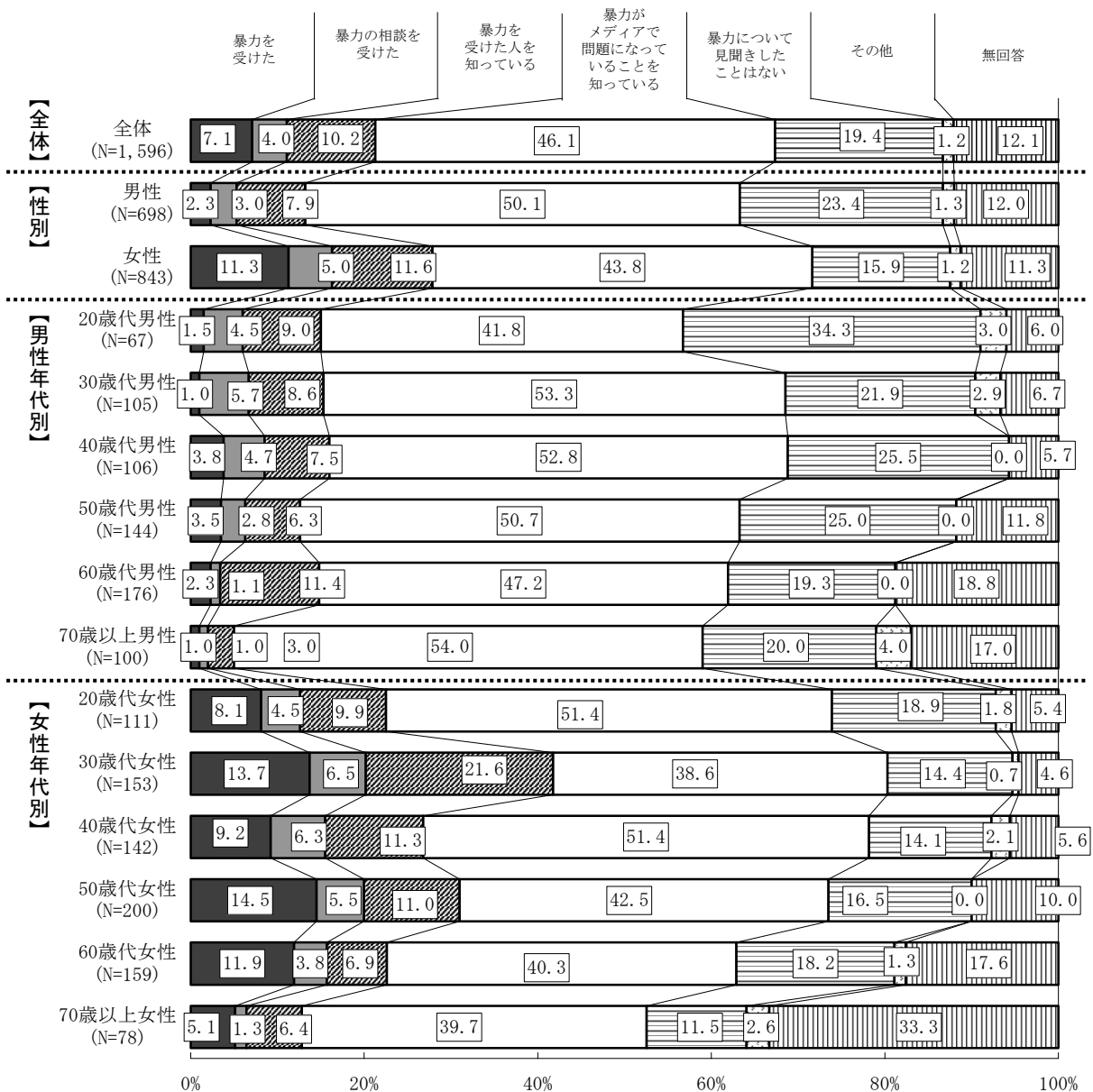


■配偶者等からの暴力

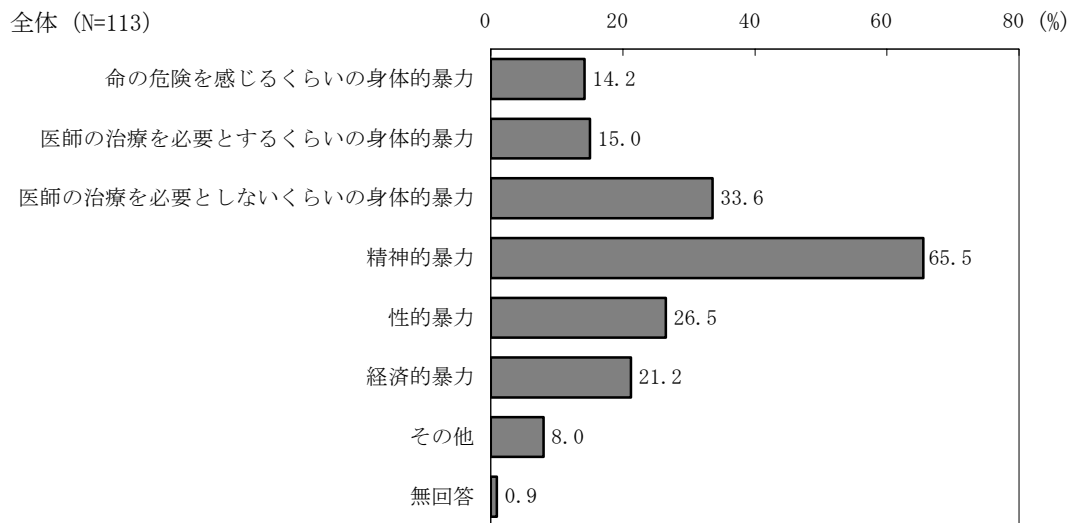
近年、配偶者等からの暴力についての相談件数が増えています。そこで、配偶者等から身体的・精神的・経済的・性的な暴力を受けた経験の有無とその内容、さらに暴力を受けた時の相談の有無をたずねました。

- ・ 配偶者等から暴力を受けたことのある人は、男性が 2.3%、女性が 11.3%となっており、女性の被害が多いことが分かります。暴力の内容は「精神的暴力」が最も多く、なかには「命の危険を感じるくらいの身体的暴力」を受けた人もいます。配偶者等から暴力を受けた人のうち、特に相談しなかった人は約 5 割おり、被害が潜在化していることがうかがえます。

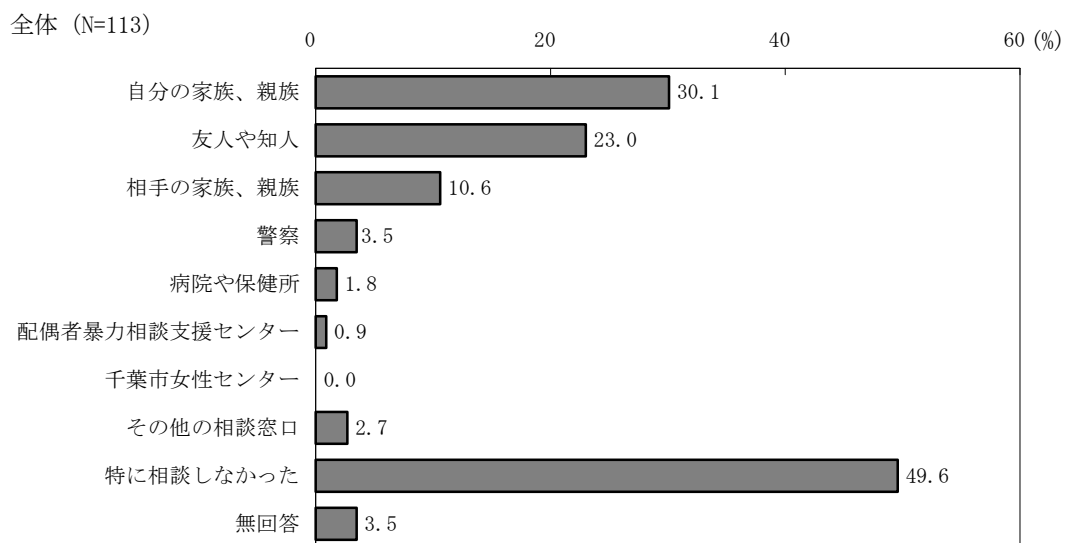
配偶者等から暴力を受けた経験



配偶者等から暴力を受けた内容



配偶者等から暴力を受けた時の相談の有無

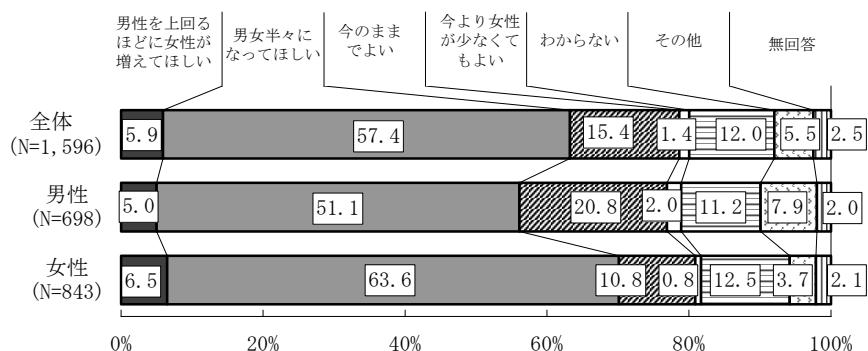


政策・方針の決定過程における男女共同参画

■ 政策決定の場への女性の参画についての考え方

政策決定の場に女性の参画が少ない現状について、どのように考えるかたずねました。

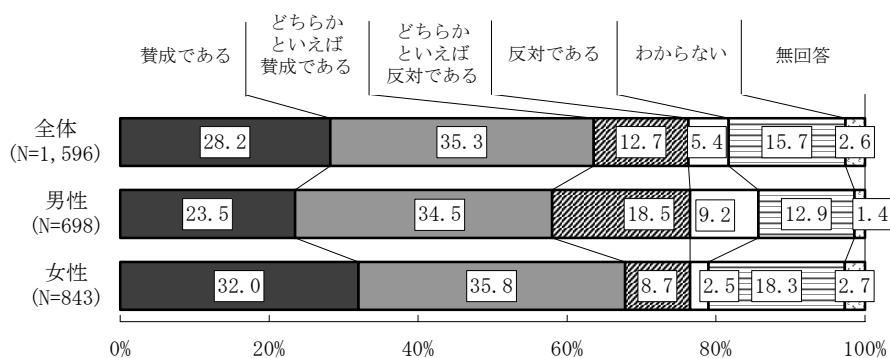
- ・ 政策決定の場において、男女が半々になってほしいと考える人は、男女ともに半数を超えています。



■ 積極的格差是正措置についての考え方

「積極的格差是正措置」とは、審議会委員や行政・企業内の管理職など、女性があまり進出していない分野において、男女の実質的な機会の平等を確保するために、一時的に女性の参画の機会を積極的に提供することを指します。このような取組についてどのように考えるかたずねました。

- ・ 積極的格差是正措置に対し、男女ともに半数を超える人が賛成しています。

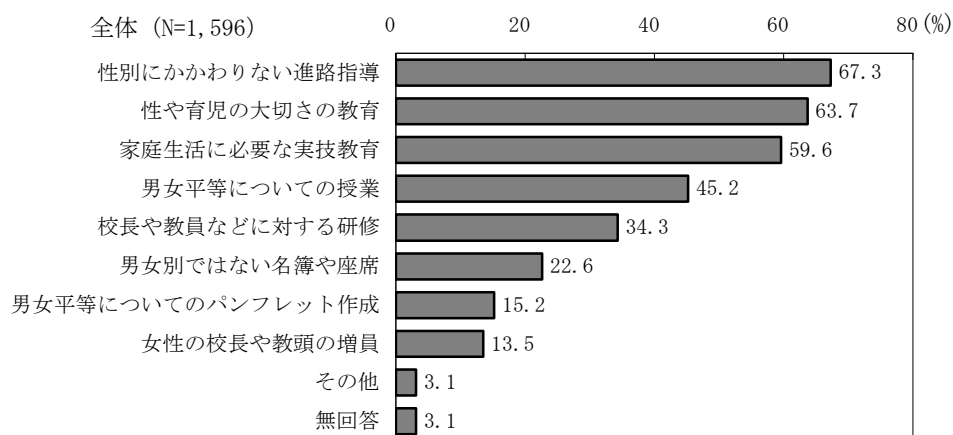


教育の分野における男女共同参画

■学校教育の分野で大切なこと

男女共同参画社会の実現のため、学校教育の分野での取組も重要です。そこで、学校教育の分野で大切なことをたずねました。

- ・男女共同参画社会に向けて、「性別にかかわらず進路指導」や「性や育児の大切さの教育」が学校教育の分野で大切なことであると考えてる人が多くなっています。

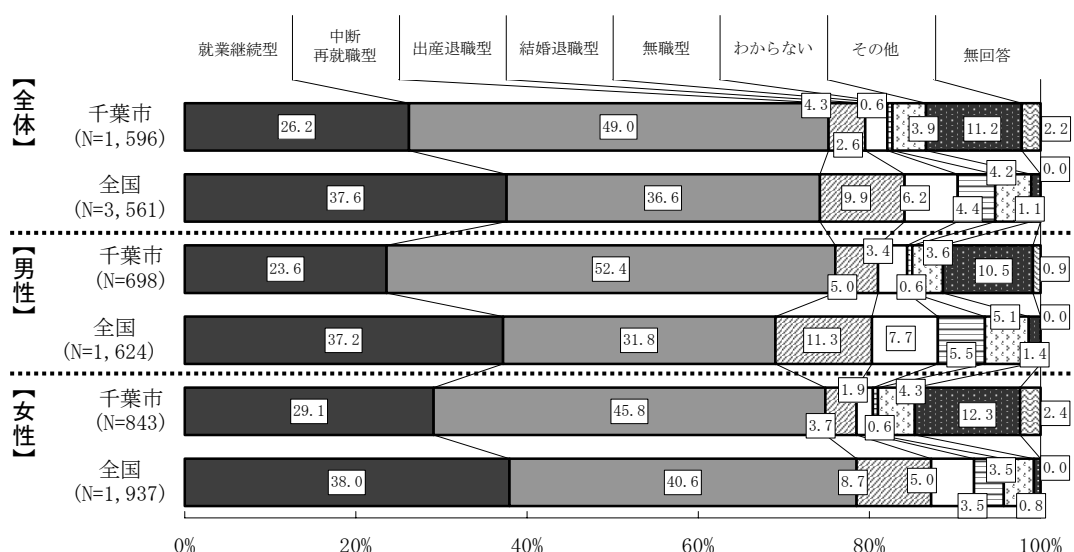


雇用の分野における男女共同参画

■女性が職業をもつことについての考え方

一般的に、女性が職業をもつことについてどのように考えるかたずねました。

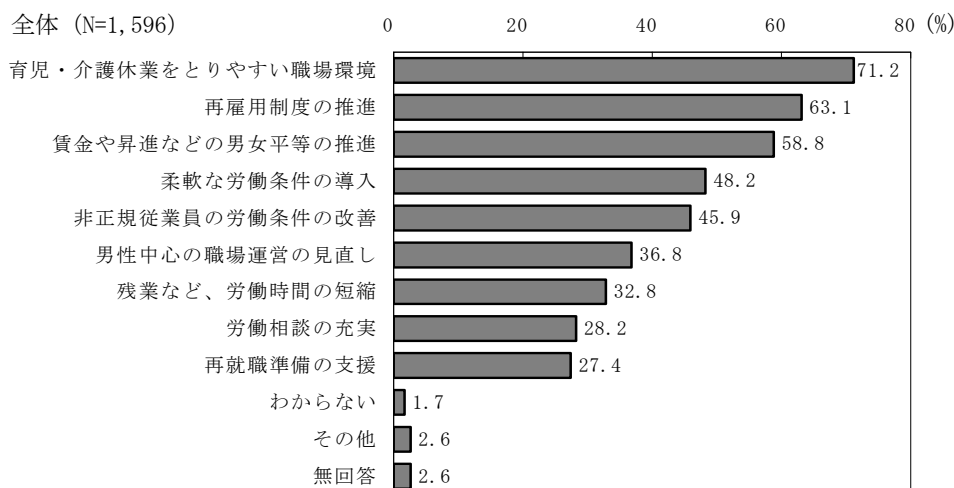
- ・「子どもができれば退職して大きくなってから再び働く方がよい（中断再就職型）」と考える人が最も多くなっています。全国と比べても中断再就職型の割合が高く、「子どもができてもずっと働き続ける方がよい（就業継続型）」と考える人が少ない傾向がみられます。



■男女ともに働きやすい職場づくりに大切なこと

男女ともに働きやすい職場をつくるために大切なことをたずねました。

- ・「育児・介護休業をとりやすい職場環境」や「再雇用制度の推進」、「賃金や昇進などの男女平等の推進」などが大切であると考えている人が多くなっています。

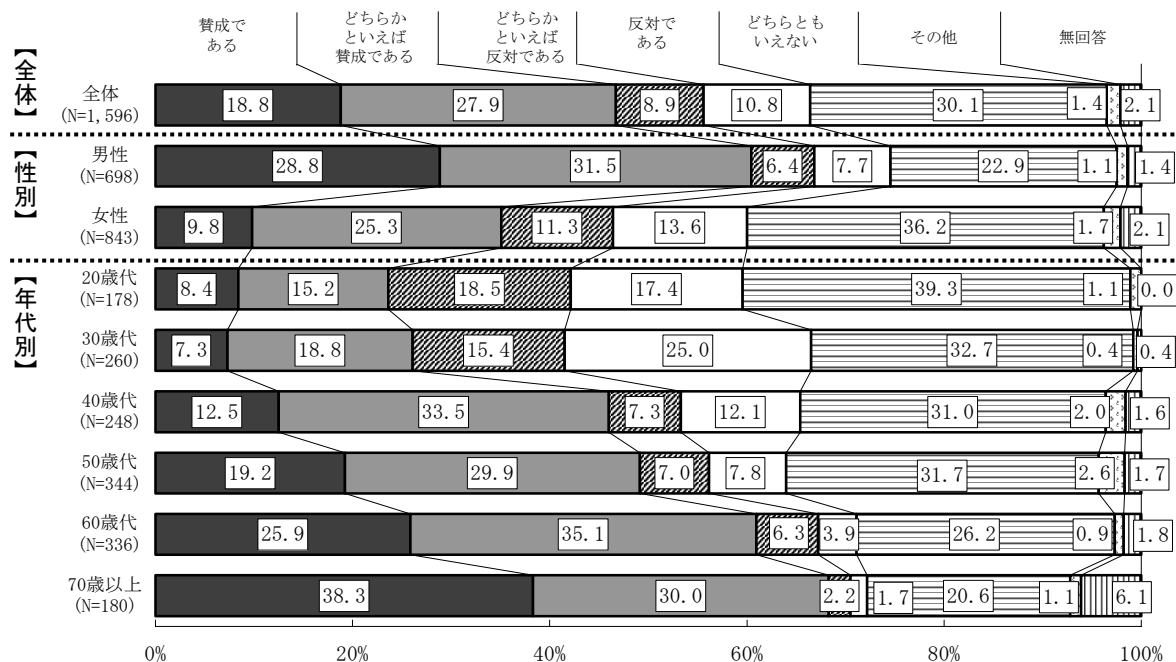


家庭生活と職場や地域活動等を円滑に行えるような支援

■結婚観

「結婚するのが当たり前」という考え方について賛否をたずねました。

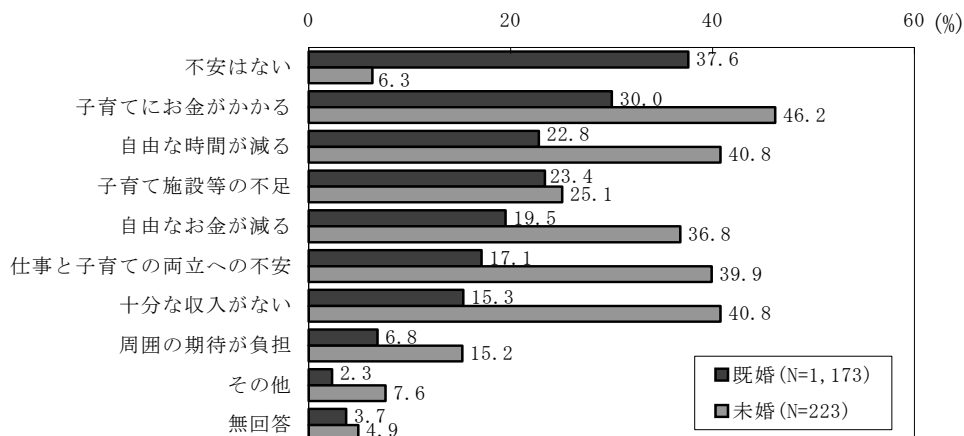
- ・男性の方が、女性より「結婚するのが当たり前」という考え方に賛成する人が多くなっています。また、年代が上がるにつれて賛成する人が増えています。



■結婚や子育てへの不安

晩婚化や少子高齢化が進む中、結婚や子育てへの不安についてたずねました。

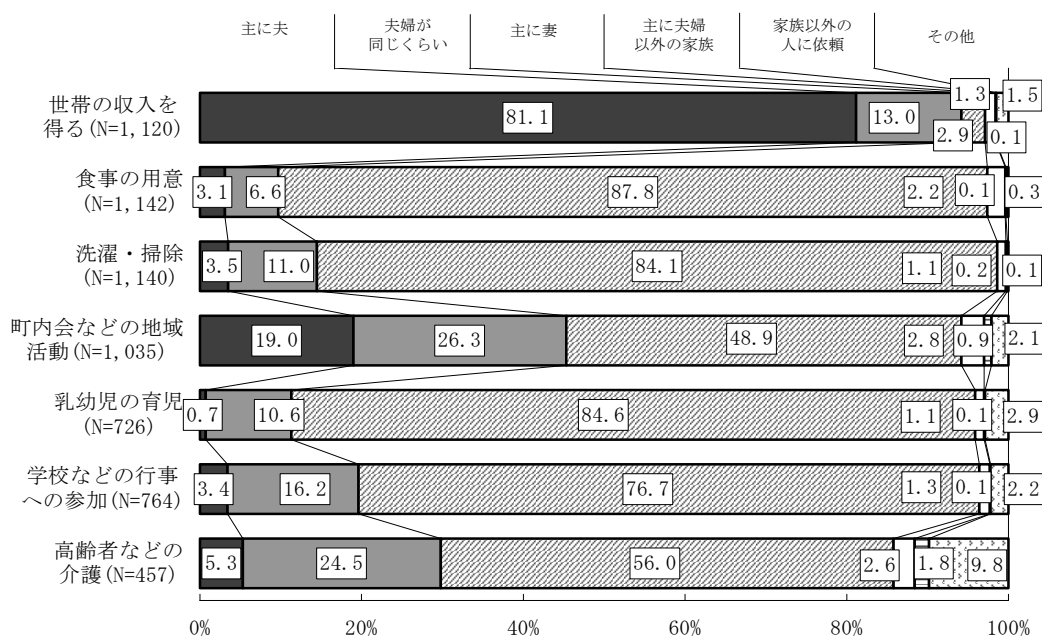
- ・結婚や子育てについて不安を感じていない、あるいは感じなかった人は、未婚者では1割未満と少なくなっています。最も不安を感じていることは「子育てにお金がかかる」ことですが、自由な時間が減ることや経済的な不安、子育て支援策などへの不安も大きくなっています。



■家庭生活における仕事の分担

家庭生活では、一人ひとりが家族の一員としての責任を果たすことが大切です。そこで、家庭生活においてどのように仕事の分担をしているかたずねてみました。

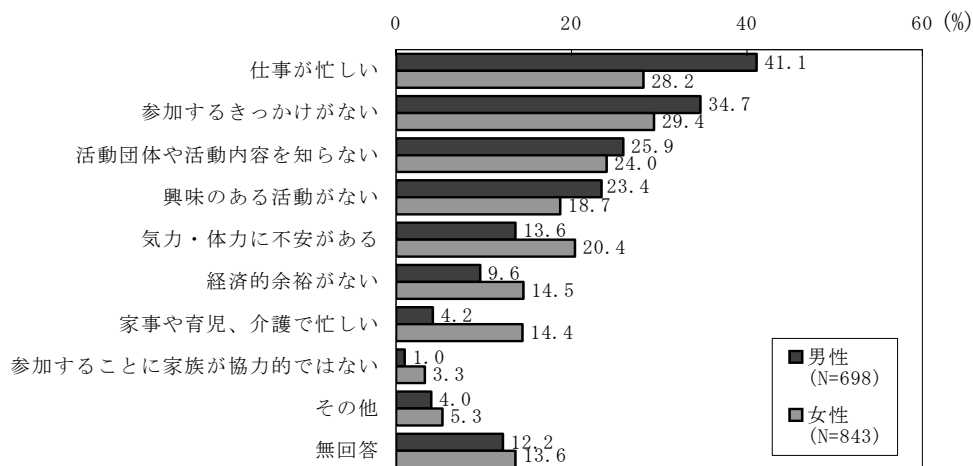
- ・夫婦・パートナーのいる人が、家庭生活における仕事をどのように分担しているかまとめると、“世帯の収入を得る”役割は主に夫が担い、それ以外の役割は主に妻が担っていることがわかります。
- ・“町内会などの地域活動”や“高齢者などの介護”については、夫婦同じくらいである割合が高くなっています。



■地域活動に参加する際に支障となること

男性も女性も積極的に地域活動に参加しやすい環境が整備されるために、地域活動に参加する際に支障となっていることをたずねました。

- ・男女ともに、仕事が忙しいことや活動するきっかけがないことなどが、地域活動に参加する際の支障となっています。

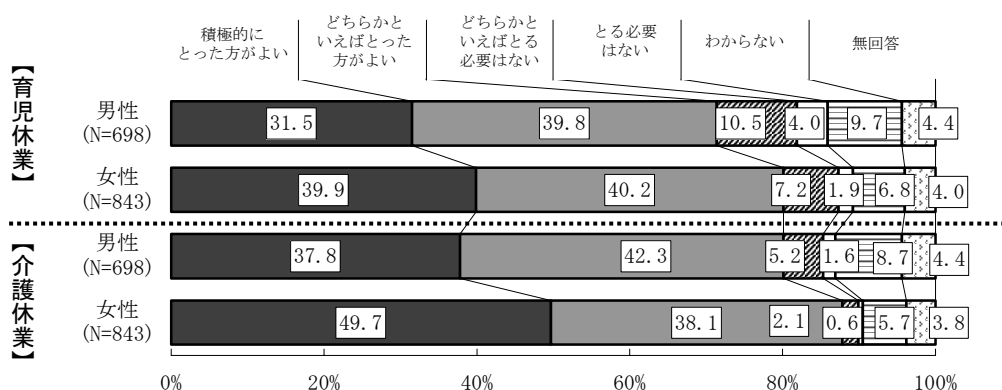


■男性が育児休業・介護休業をとることについて

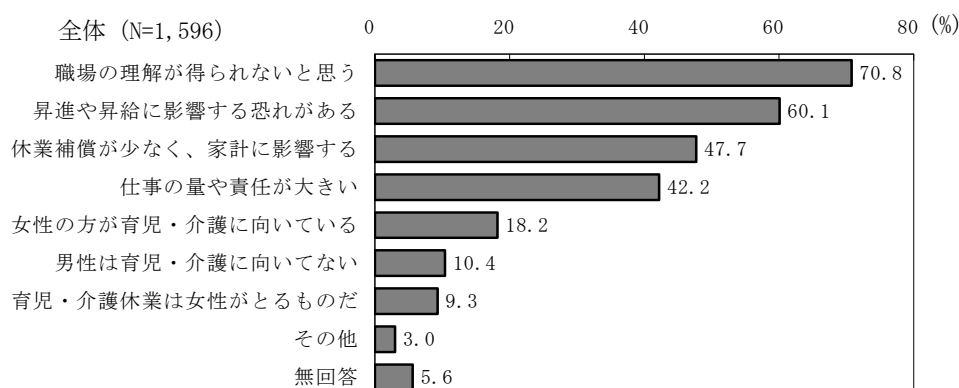
現状では、育児・介護休業をとる男性はあまり多くありません。そこで、男性が育児・介護休業をとることについてどう考えるか、また休業をとる男性が少ない理由についてたずねました。

- ・男女ともに7割以上の方が、男性が育児・介護休業をとった方がよいと考えています。しかし、実際に休業をとる男性は少なく、その理由として「職場の理解不足」や「昇進や昇給への影響」などが挙げられています。

男性が育児・介護休業をとることについての考え方



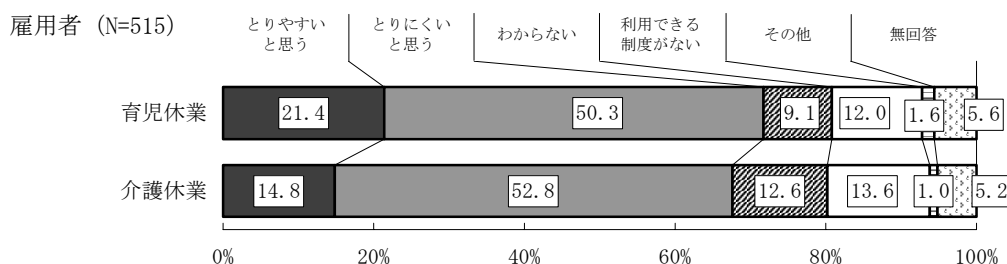
育児・介護休業をとる男性が少ない理由



■育児休業や介護休業をとりやすい職場環境の有無

雇用者に対して、育児休業や介護休業をとりやすい職場環境があるかたずねました。

- ・育児休業をとりやすいと考えている人は21.4%、介護休業をとりやすいと考えている人は14.8%と少なく、約半数の雇用者は各休業をとりにくいと考えています。

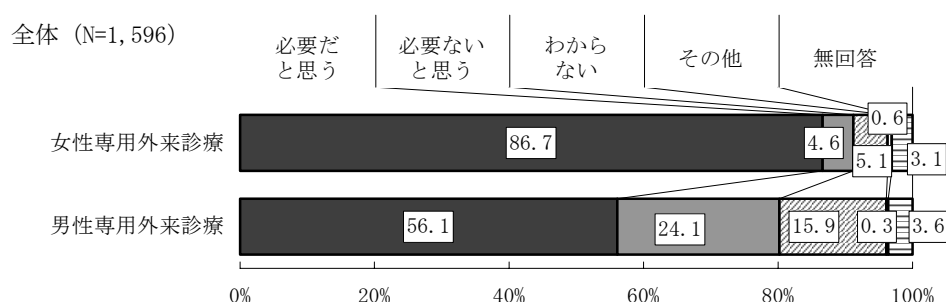


互いの性を理解し尊重しあえるような支援

■女性専用・男性専用の外来診療についての考え方

近年、性別に配慮した医療の重要性が高まっていることから、女性専用の外来診療を行う医療機関が増えていきます。そこで、男性専用・女性専用の外来診療についてどのように考えるかたずねました。

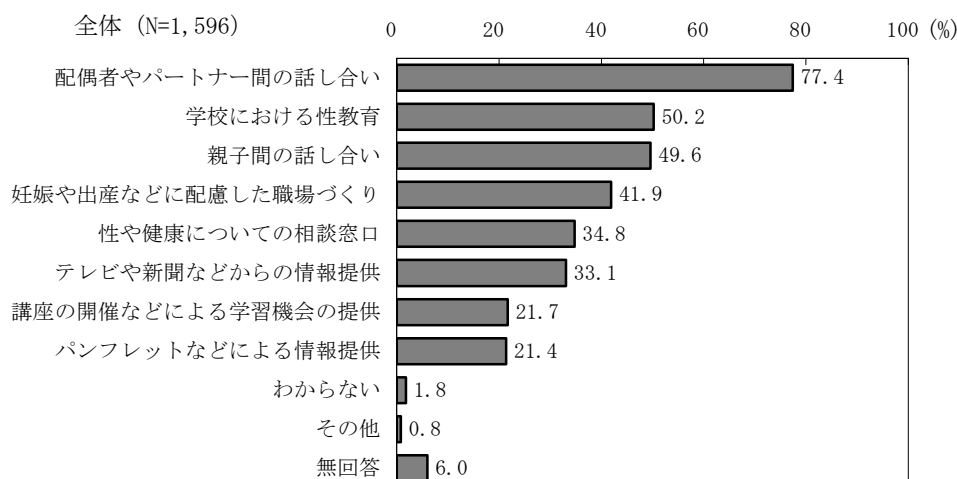
- ・女性専用外来診療は約9割、男性専用外来診療は約6割の人が、必要であると考えています。



■男女が互いの性や健康について理解しあうために大切なこと

男女が互いの性や健康について理解しあうために、どのようなことが大切であるかたずねました。

- ・「配偶者やパートナー間の話し合い」や「学校における性教育」、「親子間の話し合い」が大切であると多くの人が考えています。

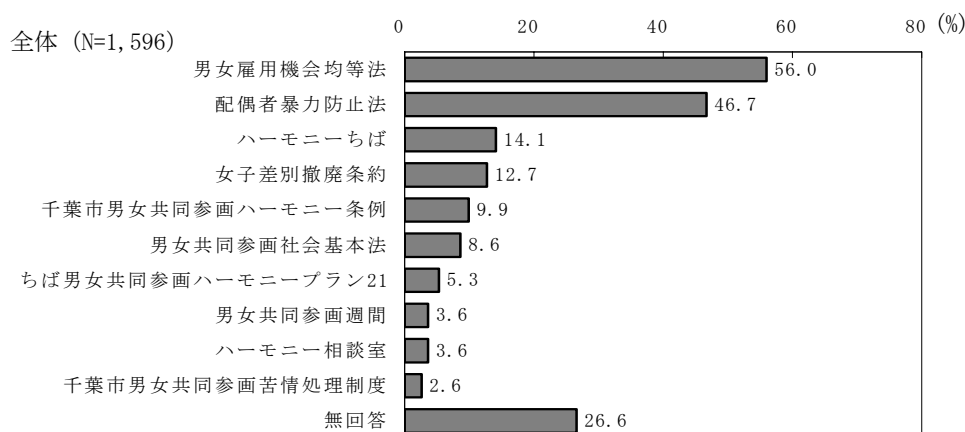


千葉市の男女共同参画への取組

■男女共同参画をすすめる取組の認知度

千葉県や国では、様々な分野において男女共同参画をすすめる取組を行ってきました。そこで、このような行政の取組について認知度をたずねてみました。

- ・「男女雇用機会均等法」や「配偶者暴力防止法」については、5～6割の人が認知しています。しかし、「千葉県男女共同参画ハーモニー条例」や「ちば男女共同参画ハーモニープラン21」など、千葉市の取組に対する認知度は低くなっています。

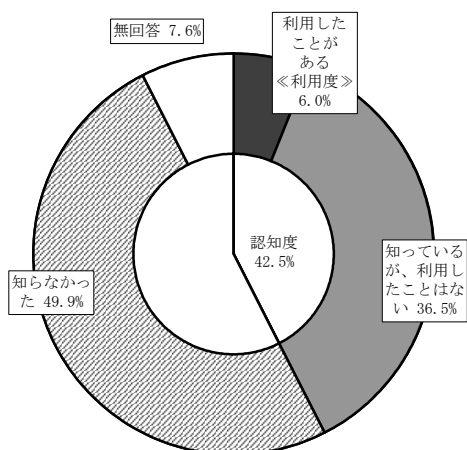


■千葉県女性センター

男女共同参画を進めるための調査・研究や情報収集、相談、講座などを行う施設として、「千葉県女性センター」があります。設立から4年が経過したところですが、千葉県女性センターの認知度と利用率、さらに千葉県女性センターにどのようなことを期待するかをたずねました。

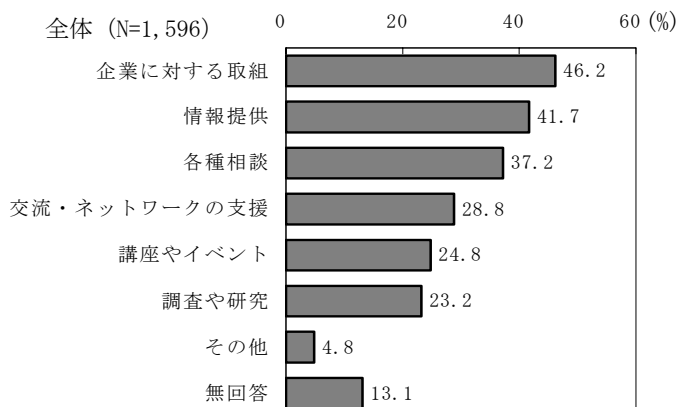
- ・千葉県女性センターの利用率は1割弱、認知度は約4割にとどまっています。今後は、「企業に対する取組」や「情報提供」などにより利用率を高めることが期待されています。

千葉県女性センターの認知度・利用率



全体 (N=1,596)

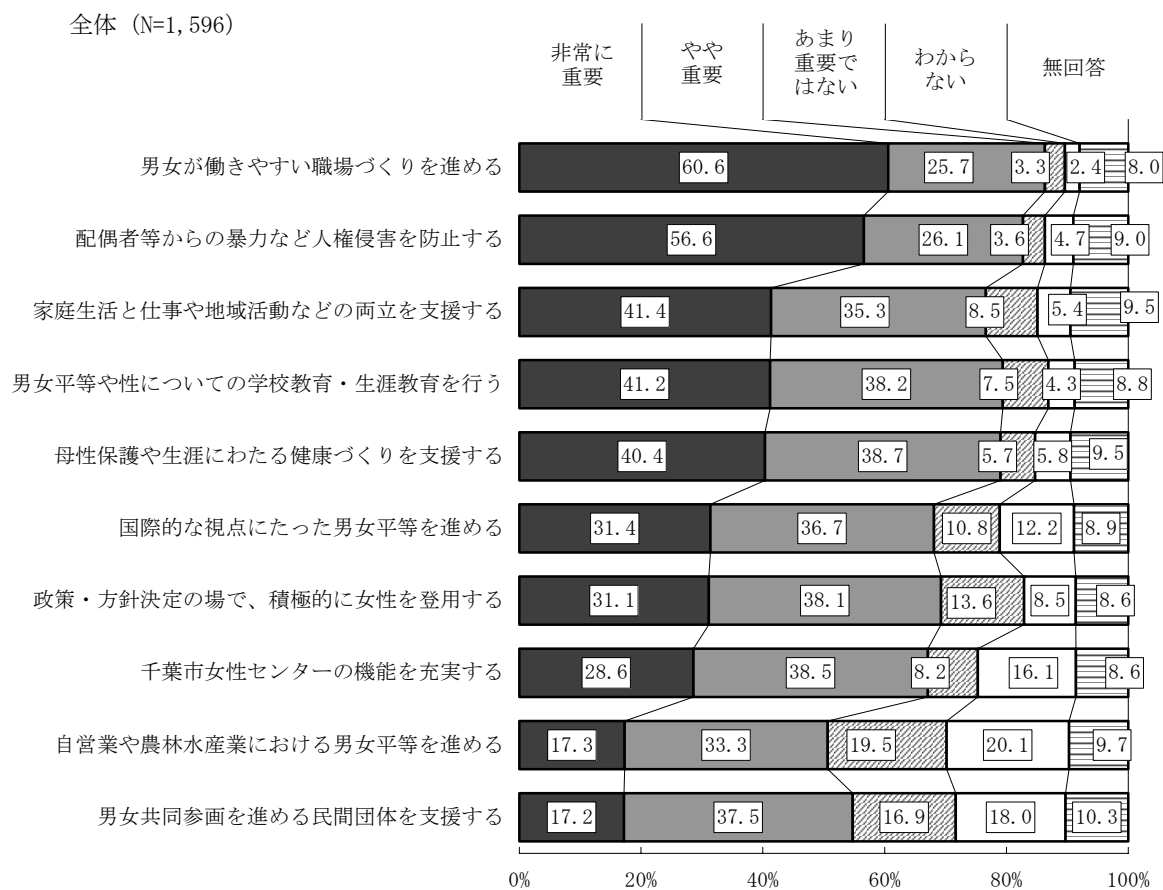
千葉県女性センターに期待すること



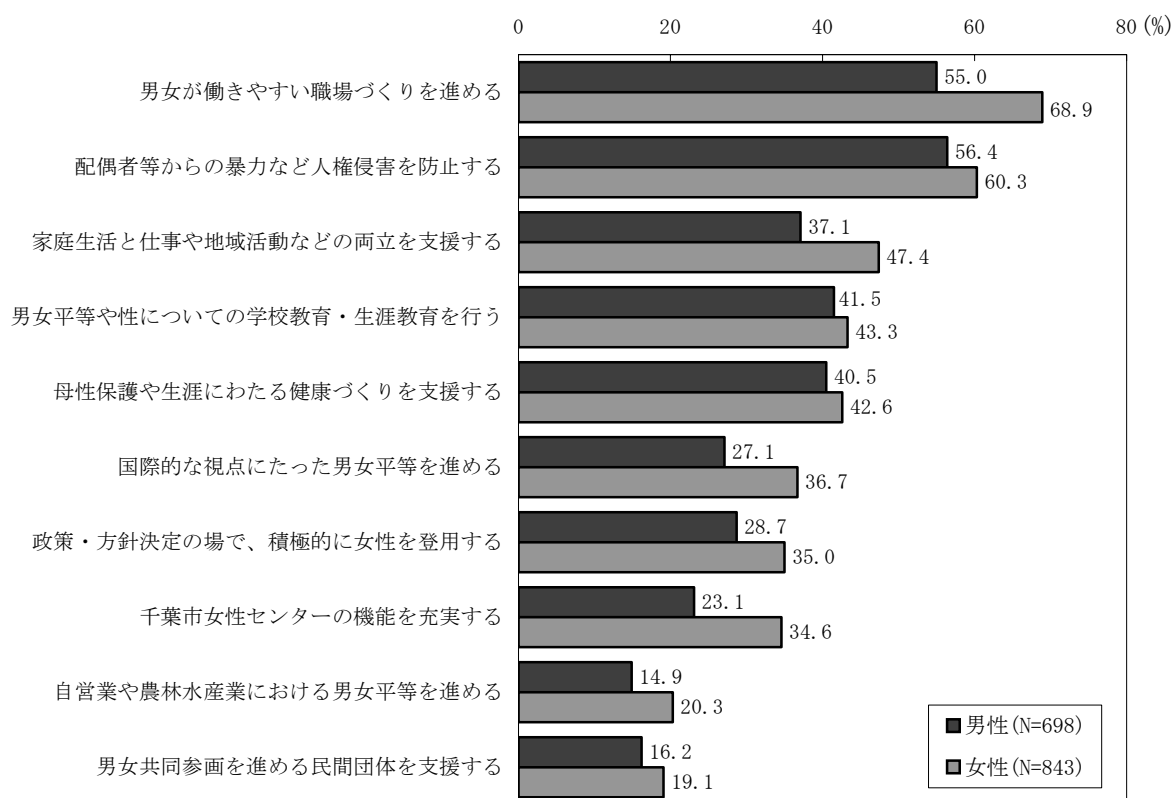
■男女共同参画をすすめるために重要なこと

男女共同参画社会は、市・市民・事業者が協働して取り組むことによって実現します。そこで、特に千葉市が果たすべき役割や業務のいくつかについて、それぞれ重要度をたずねました。

- ・「男女が働きやすい職場づくり」や「配偶者等からの暴力など人権侵害の防止」などが非常に重要であると考えられています。



- ・男女別にみると、男性は「配偶者等からの暴力など人権侵害の防止」、女性は「男女が働きやすい職場づくり」を、非常に重要と考えています。
- ・男女差が大きい役割は、「男女が働きやすい職場づくり」や「千葉県女性センターの機能充実」、「家庭生活と仕事や地域活動などの両立支援」であり、いずれも非常に重要だと考える女性の方が男性より多くなっています。



※「非常に重要」と回答した割合のみ表示。



男女共同参画社会に関する調査報告書
[ダイジェスト版]

平成16年3月

■発行

千葉市市民局生活文化部男女共同参画課
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1
Tel.043-245-5060



古紙配合率100%再生紙を使用しています